

最終改正:2025 年 12 月 1 日

宿 泊 約 款

(適用範囲)

- 第 1 条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとしします。
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとしします。

(宿泊契約の申し込み)

- 第 2 条 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名及び宿泊人数
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第 1 による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第 3 条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとしします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3 日を超えるときは 3 日間)の宿泊料金を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 8 条及び第 21 条の規定を適用する事態が生じたときは、キャンセル料に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 15 条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第 2 項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとしします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第 4 条 前条第 2 項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取扱いいたします。

(施設における感染防止対策への協力の求め)

- 第 5 条 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和 23 年法律第 138 号)第 4 条の 2 第 1 項の規定による協力を求めることができます。

(宿泊契約締結の拒否)

第6条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
- (5) 宿泊しようとする者が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団関係企業・団体の関係者など反社会的勢力であるとき。
- (6) 宿泊しようとする者が暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
- (7) 宿泊しようとする者が法人で、その役員に暴力団等の反社会的勢力に該当する者がいるとき。
- (8) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し威圧的もしくは暴力的要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を求めたとき(ただし、宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)。
- (10) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (11) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (12) 三重県旅館業法施行条例第7条の規定する場合に該当するとき。

(宿泊契約締結の拒否の説明)

第7条 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊客の契約解除権)

第8条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、キャンセル料を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときのキャンセル料支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理すること

があります。

(当ホテルの契約解除権)

第9条 ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が特定感染症の患者であるとき。
 - (3) 天災、施設の故障等、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (4) 宿泊客が泥酔などにより他の宿泊者に影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。あるいは宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (5) 当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
 - (6) 指定された喫煙室、喫煙場以外で喫煙したとき。
 - (7) 消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
 - (8) 宿泊客が暴力団、暴力団員、暴力団関係企業・団体の関係者などの、反社会的勢力と判明したとき。
 - (9) 宿泊客が暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
 - (10) 宿泊客が法人で、その役員に暴力団員に該当する者がいるとき。
 - (11) 宿泊客が、宿泊に関し威圧的もしくは暴力的要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を求めたとき（ただし、宿泊客が障害者差別解消法第8条2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
 - (12) その実施に伴う負担が加重であって他の宿泊客に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として、旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - (13) 三重県旅館業法施行条例第7条の規定する場合に該当するとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊契約解除の説明)

第10条 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊の登録)

第11条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、住所、連絡先及び宿泊人数
 - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第15条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただく場合があります。

(客室の使用時間)

第12条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝11時までとし

ます。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 超過 2 時間までは、1 室あたり 6,000 円（サービス料込/税別）
 - (2) 超過 4 時間までは、1 室あたり 12,000 円（サービス料込/税別）
3. 超過 4 時間以上は、時間外の客室の使用に応じません。

（利用規則の遵守）

第 13 条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが別に定める利用規則に従っていただきます。

（営業時間）

第 14 条 当ホテルにおける各施設等の詳しい営業時間は各所の掲示、インターネット等でご案内いたします。

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

（料金の支払い）

第 15 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

（当ホテルの責任）

第 16 条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 前項の損害賠償は、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度とします。

（契約した客室の提供ができないときの取扱い）

第 17 条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものといたします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、別表第 2 に掲げるキャンセル料相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

（寄託物等の取扱い）

第 18 条 宿泊客が多額の現金及び貴重品の持込みを希望する場合は、セキュリティ等の事情から宿泊客が当ホテルに事前に申告していただきます。宿泊客が申告していただいた場合でも、当ホテルの判断により持込みを受け付けられない場合があります。なお、当ホテルに申告せずに持込みした多額の現金及び貴重品の毀損・汚損・紛

失等について、当ホテルは責任を負いかねます。

2. 宿泊客が、当ホテル内に持込みした現金、貴重品、手荷物または携行品については、宿泊者にて保管・管理していただくものとし、当ホテルが個別の手続きにおいてその保管・管理を引き受けした場合を除き、毀損・汚損・紛失において当ホテルに故意又は重大な過失がある場合に限り賠償するものとします。
3. 前項の賠償については、客観的に損害額が立証されることを条件に当該損害を賠償するものとし、損害額の客観的な評価が困難な場合については、15 万円を限度として当ホテルは相当額を賠償します。

（宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

- 第 19 条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合、当ホテルは原則として所有者からの指示がない場合又は所有者が判明しない場合は、遺失物に関する法令に基づき取り扱いします。貴重品については速やかに最寄りの警察署に届け、その他の物品については 1 ケ月経過後処分します。ただし、飲食物・雑誌類および衛生環境を損なう懸念のある物品、その他廃棄物に相当する物品は、保管期間内であっても、翌日に処分します。
 3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては前条第 2 項及び第 3 項の規定に準じるものとします。

（駐車責任）

- 第 20 条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

（宿泊客の責任）

- 第 21 条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

（優先言語）

- 第 22 条 本約款及びその他利用規約等は、日本語を正文とします。お客様の参考のために提示された翻訳文がある場合でも、日本語の正文のみが契約としての効力を有するものとし、翻訳文はいかなる効力も有しないものとします。

（約款の変更）

- 第 23 条 当ホテルは、次に掲げる場合には、本約款の変更をすることにより、変更後の本約款の条項について合意があったものとみなし、個別に宿泊客と合意することなく宿泊契約の変更をすることができるものとします。
- (1) 本約款の変更が、宿泊者の一般の利益に適合するとき
 - (2) 本約款の変更が、宿泊契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、その他に係る事情に照らして合理的なものであるとき。
2. 本約款を変更する場合、当ホテルは宿泊者に対して、インターネットの利用そ

その他の適切な方法により、本約款を変更する旨及び変更後の本約款の内容並びにその効力発生時期を告知するものとします。

3. 変更後の約款の効力発生日以降に当ホテルを利用したときは、宿泊者は、本約款の変更同意したものとみなします。

(準拠法、管轄裁判所)

第 24 条 本約款に関する紛争は、日本法を準拠法とし、当ホテルの所在する地を管轄する地方裁判所を専属合意管轄裁判所とします。

別表第 1

宿泊料金等の算定方法 (第 2 条第 1 項及び第 15 条第 1 項関係)

宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金 (宿泊パッケージ料金)
	追加料金 (飲食料及びその他の利用料金)
	税金 (消費税、入湯税)

- (注) 1. 宿泊パッケージ料金には室料のほか、宿泊客が選択した食事やテーマパークのチケット料金などが含まれます
2. 宿泊パッケージ料金にはサービス料 (10%) が含まれます。ただし、テーマパークチケットにはサービス料はかかりません。
3. 税法ならびに条例が改定された場合には、その改定された規定によるものとします。

別表第 2

キャンセル料 (第 8 条第 2 項関係)

契約申込人数		契約解除を受けた日				
		不泊	当日	前日	2 から 3 日前	4 から 10 日前
一般	14 名まで	100%	80%	50%	10%	
団体	15 名以上	100%	80%	50%	10%	10%

- (注) 1. %は、宿泊料金に対するキャンセル料の比率です。
2. 別途個別の宿泊契約、特定 WEB サイト及び特定宿泊パッケージについては上記のキャンセル料の比率とは別に設定したキャンセル料の比率を適用します。
3. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分 (初日) のキャンセル料を収受します。
4. 団体客 (15 名以上) の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 10 日前 (その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日) における宿泊人数の 10% (端数が出た場合には切り上げる) にあたる人数については、キャンセル料はいただきません。

Terms and Conditions for Accommodation Contract

(Scope of Application)

- Article 1. Accommodation contracts and related agreements entered into between the Hotel and its guests, as well as these Terms and Conditions, shall govern the relationship between the Hotel and its guests. Any matters not stipulated herein shall be governed by applicable laws and regulations (including rules and ordinances issued thereunder; the same applies hereinafter) or by generally accepted practices.
2. Notwithstanding the preceding paragraph, if the Hotel enters into a special agreement with a guest, provided that such agreement does not contravene laws and regulations or generally accepted practices, such special agreement shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

(Application for Accommodation Contract)

- Article 2. A person who intends to apply for an accommodation contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
- (1) Names and number of guests
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival
 - (3) Accommodation charges (as a general rule, based on the Basic Accommodation Charges listed in Attached Table No. 1)
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel
2. If a guest requests to extend their stay beyond the date specified in item (2) of the preceding paragraph, such a request shall be regarded as an application for a new accommodation contract at the time the request is made.

(Conclusion of Accommodation Contract)

- Article 3. An accommodation contract shall be deemed to have been concluded when the Hotel accepts the application referred to in the preceding article. However, this shall not apply if it is proved that the Hotel did not accept the application.
2. When an accommodation contract has been concluded in accordance with the preceding paragraph, the guest shall pay, by the date specified by the Hotel, a deposit determined by the Hotel, up to the amount equivalent to the accommodation charges for the period of stay (three days when the period exceeds three days).
3. The deposit shall first be applied to the accommodation charges payable by the guest. If circumstances under Articles 8 and 21 arise, the deposit shall then be applied to the cancellation charge and subsequently to any compensation for damages. Any remaining balance shall be refunded at the time of payment of the charges under Article 15.
4. If the guest fails to pay the deposit by the date specified in paragraph 2, the accommodation contract shall become invalid. However, this shall apply only if the Hotel has informed the guest to that effect when specifying the payment due date

for the deposit.

(Special Agreement Requiring No Deposit)

Article 4. Notwithstanding paragraph 2 of the preceding article, the Hotel may enter into a special agreement that waives the requirement for payment of the deposit after the accommodation contract has been concluded as outlined in that paragraph.

2. If, when accepting an application for an accommodation contract, the Hotel has neither requested payment of the deposit referred to in paragraph 2 of the preceding article nor specified the payment due date, the Hotel shall be deemed to have entered into the special agreement described in the preceding paragraph.

(Request for Cooperation in Infection Prevention Measures within the Facility)

Article 5. The Hotel may request persons intending to stay at the Hotel to cooperate in infection prevention measures pursuant to Article 4-2, paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal to Conclude Accommodation Contract)

Article 6. The Hotel may refuse to conclude an accommodation contract in any of the following cases. However, this shall not be construed as allowing the Hotel to refuse accommodation in cases other than those outlined in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) If the application for accommodation does not comply with these Terms and Conditions
- (2) If no guest rooms are available due to full occupancy
- (3) If the person seeking accommodation is deemed likely to engage in conduct that violates laws or regulations, or that may disrupt public order or good morals in connection with the stay
- (4) If the person seeking accommodation is a patient with a specific infectious disease as prescribed in Article 4-2, paragraph 1, item (ii) of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "patient with a specific infectious disease")
- (5) If the person seeking accommodation is an organized crime group as defined in Article 2, item (ii) of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991; hereinafter referred to as "Boryokudan"), a member of such a group as defined in item (vi) of the same article (hereinafter referred to as "Boryokudan member"), a person related to an enterprise or organization affiliated with such a group, or any other antisocial force
- (6) If the person seeking accommodation is a corporation or other organization whose business activities are controlled by a Boryokudan or a Boryokudan member
- (7) If the person seeking accommodation is a corporation whose officer falls under any category of antisocial forces, such as a Boryokudan or Boryokudan member
- (8) If the person seeking accommodation has caused significant annoyance to other guests through speech or behavior
- (9) If the person seeking accommodation has made intimidating or violent demands, or has requested an unreasonable burden that exceeds socially acceptable limits, provided, however, that this shall not apply to requests for the removal of social barriers pursuant to Article 8, paragraph 2 of the Act for Eliminating

Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013)

- (10) If the person seeking accommodation repeatedly makes requests prescribed in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act, which impose an excessive burden on the Hotel and are likely to hinder the provision of accommodation services to other guests significantly
- (11) If accommodation cannot be provided due to natural disasters, facility malfunctions, or other unavoidable reasons
- (12) If the case falls under any of the provisions of Article 7 of the Mie Prefecture Enforcement Regulations of the Hotel Business Act

(Explanation of Refusal to Conclude Accommodation Contract)

Article 7. A person seeking accommodation may request the Hotel to explain the reason if the Hotel refuses to conclude an accommodation contract pursuant to the preceding article.

(Right of Guest to Cancel Accommodation Contract)

Article 8. A guest may cancel the accommodation contract by notifying the Hotel.

- 2. If a guest cancels the accommodation contract in whole or in part for reasons attributable to the guest (except where the Hotel has specified a payment due date for the deposit pursuant to Article 3, paragraph 2 and the guest cancels the contract before making such payment), the Hotel shall charge a cancellation fee as specified in Attached Table No. 2. However, if the Hotel has entered into a special agreement under Article 4, paragraph 1, this shall apply only if the Hotel has informed the guest, at the time of entering into such agreement, of the guest's obligation to pay a cancellation fee in the event of cancellation.
- 3. If a guest does not arrive by 8:00 p.m. on the day of accommodation (or within two hours after the expected time of arrival, if such time has been specified in advance) without prior notice, the Hotel may regard the accommodation contract as having been cancelled by the guest.

(Right of Hotel to Cancel Accommodation Contract)

Article 9. The Hotel may cancel the accommodation contract in any of the following cases. However, this shall not be construed as allowing the Hotel to refuse accommodation in cases other than those outlined in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) If a guest is deemed likely to engage in conduct that violates laws or regulations, or that may disrupt public order or good morals in connection with the stay, or if a guest is deemed to have engaged in such conduct
- (2) If a guest is a patient with a specific infectious disease
- (3) If accommodation cannot be provided due to natural disasters, facility malfunctions, or other unavoidable reasons
- (4) If a guest is deemed likely to affect other guests due to intoxication or other causes, or if a guest has caused significant annoyance to other guests through speech or behavior
- (5) If a guest fails to comply with the prohibited matters stipulated in the Hotel's rules of use
- (6) If a guest smokes in areas other than designated smoking rooms or smoking

areas

- (7) If a guest tampers with fire-fighting equipment or otherwise fails to comply with prohibited matters specified in the Hotel's rules of use (limited to those necessary for fire prevention)
 - (8) If a guest is found to be a Boryokudan, a Boryokudan member, a person related to an enterprise or organization affiliated with such a group, or any other antisocial force
 - (9) If the entity applying for accommodation is a corporation or other organization controlled by a Boryokudan or a Boryokudan member
 - (10) If the entity applying for accommodation is a corporation whose officer falls under any category of antisocial forces, such as a Boryokudan or a Boryokudan member
 - (11) If a guest makes intimidating or violent demands, or requests an unreasonable burden that exceeds socially acceptable limits, provided, however, that this shall not apply to requests for the removal of social barriers pursuant to Article 8, paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013)
 - (12) If a guest repeatedly makes requests prescribed in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act, which impose an excessive burden on the Hotel and are likely to hinder the provision of accommodation services to other guests significantly
 - (13) If the case falls under any of the provisions of Article 7 of the Mie Prefecture Enforcement Regulations of the Hotel Business Act
2. If the Hotel cancels the accommodation contract pursuant to the preceding paragraph, the Hotel shall not charge the guest for accommodation services or other fees for the remaining period of stay that have not yet been provided.

(Explanation of Cancellation of Accommodation Contract)

Article 10. A guest may request the Hotel to explain the reason if the Hotel cancels the accommodation contract pursuant to the preceding article.

(Registration of Accommodation)

Article 11. On the day of accommodation, guests shall register the following particulars at the front desk of the Hotel:

- (1) Names, addresses, contact information, and number of guests
 - (2) For a foreign national without an address in Japan, the nationality and passport number
 - (3) Other particulars deemed necessary by the Hotel
2. If a guest intends to pay the charges under Article 15 by a means other than cash, such as traveler's checks, accommodation vouchers, or credit cards, the guest may be requested to present such means of payment at the time of registration specified in the preceding paragraph.

(Guest Room Usage Hours)

Article 12. Guests may use the Hotel's guest rooms from 3:00 p.m. until 11:00 a.m. the following morning. However, in the case of consecutive stays, guests may use the room throughout the day, except on the days of arrival and departure.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, the Hotel may permit the use of a guest room outside the hours specified therein. In such cases, the following additional charges shall apply:

- (1) Up to 2 hours: 6,000 yen per room (service charge included, tax excluded)
- (2) Up to 4 hours: 12,000 yen per room (service charge included, tax excluded)
3. Use of a guest room beyond 4 hours outside the hours specified in paragraph 1 shall not be permitted.

(Compliance with Rules of Use)

Article 13. Guests shall comply with the rules of use separately established by the Hotel while on the Hotel premises.

(Business Hours)

Article 14. Details of the business hours of the Hotel's facilities shall be provided by notices posted in each location or through the Internet.

2. The business hours specified in the preceding paragraph may be temporarily changed when necessary or unavoidable. In such cases, guests shall be informed by an appropriate means.

(Payment of Charges)

Article 15. The breakdown of the accommodation charges and other fees to be paid by guests shall be as specified in Attached Table No. 1.

2. Payment of the accommodation charges and other fees referred to in the preceding paragraph shall be made in cash or by any means accepted by the Hotel, such as traveler's checks, accommodation vouchers, or credit cards, at the front desk at the time of the guest's departure or upon request by the Hotel.
3. Even if a guest voluntarily chooses not to stay after a guest room has been provided and made available for use, the accommodation charge shall still apply.

(Liability of the Hotel)

Article 16. The Hotel shall compensate a guest for any damage caused to the guest in the performance or non-performance of the accommodation contract or any related agreement. However, this shall not apply if such damage is not attributable to the Hotel.

2. The amount of compensation under the preceding paragraph shall be limited to 150,000 yen, except in cases where the damage is caused by the Hotel's willful misconduct or gross negligence.

(Handling When Unable to Provide Contracted Guest Room)

Article 17. The Hotel shall, with the guest's consent, arrange for alternative accommodation of the same or similar conditions to the extent possible if it is unable to provide the contracted guest room.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, if the Hotel is unable to arrange alternative accommodation, it shall pay the guest a compensation amount equivalent to the cancellation fee specified in Attached Table No. 2, which shall be applied to the amount of damages. However, the Hotel shall not be liable for such compensation if it is not responsible for being unable to provide the guest

room.

(Handling of Valuables and Other Articles)

Article 18. If the guest wishes to bring a large amount of cash or valuables into the Hotel, the guest shall notify the Hotel in advance due to security considerations. Even if such notification is made, the Hotel may, at its discretion, refuse to allow the items to be brought in. The Hotel shall not be liable for any loss, damage, or theft of large amounts of cash or valuables brought into the Hotel without prior notification.

2. Cash, valuables, baggage, or other personal belongings brought into the Hotel by the guest shall be kept and managed by the guest. Except when the Hotel has expressly accepted responsibility for their safekeeping through a separate procedure, the Hotel shall compensate the guest for any loss, damage, or theft only when such loss or damage results from the Hotel's willful misconduct or gross negligence.
3. Compensation under the preceding paragraph shall be limited to cases where the amount of damage can be objectively proven. If it is difficult to objectively assess the amount of damage, the Hotel shall compensate an appropriate amount, up to a maximum of 150,000 yen.

(Handling of Baggage and Personal Belongings)

Article 19. If a guest's baggage arrives at the Hotel prior to their stay, the Hotel shall be responsible for keeping it only if the Hotel has agreed to do so in advance, and the baggage shall be handed to the guest at the front desk upon check-in.

2. If a guest's baggage or personal belongings are found left behind after check-out, the Hotel shall, in principle, handle them in accordance with the relevant laws and regulations concerning lost property, unless otherwise instructed by the guest or the ownership cannot be confirmed. Valuables shall be promptly delivered to the nearest police station, and other items shall be disposed of after one month. However, food, magazines, items that may pose hygiene concerns, and other items deemed equivalent to waste shall be disposed of the following day, even within the retention period.
3. The Hotel's responsibility for the custody of baggage and personal belongings under the preceding two paragraphs shall be governed by the provisions of Article 18, paragraph 1 in the case of paragraph 1, and by paragraphs 2 and 3 of the same article in the case of paragraph 2.

(Responsibility for Parking)

Article 20. When guests use the Hotel's parking facilities, the Hotel merely provides parking space. The Hotel does not assume responsibility for the custody or management of the vehicle, regardless of whether the vehicle key has been deposited with the Hotel. However, if damage is caused in the course of parking lot management due to the Hotel's willful misconduct or negligence, the Hotel shall be liable for such damage.

(Responsibility of Guests)

Article 21. If the Hotel suffers damage due to the willful misconduct or negligence of a

guest, the guest shall compensate the Hotel for such damage.

(Language)

Article 22. These Terms and Conditions, as well as any other related rules or policies, shall be written in Japanese, which shall be the official and governing language. Any translations provided are for reference purposes only, and the Japanese text shall be the only text having legal effect.

(Change of Terms and Conditions)

Article 23. The Hotel may revise these Terms and Conditions and deem guests to have agreed to the revised terms without obtaining individual consent, in any of the following cases:

- (1) When the revision conforms to the general interests of guests
- (2) When the revision does not conflict with the purpose of the accommodation contract and is reasonable in light of the necessity of the revision, the appropriateness of its content after revision, and other relevant circumstances
2. When revising these Terms and Conditions, the Hotel shall notify guests of the details of the revisions, the effective date, and the fact of the revision by posting them on the Hotel's website or by other appropriate means.
3. If a guest uses the Hotel on or after the effective date of the revised Terms and Conditions, the guest shall be deemed to have agreed to the revision.

(Governing Law and Jurisdiction)

Article 24. The laws of Japan shall govern any disputes arising in connection with these Terms and Conditions, and the district court having jurisdiction over the location of the Hotel shall be the exclusive court of jurisdiction.

Attached Table No. 1

Method for Calculating Accommodation Charges and Other Fees (related to Article 2, paragraph 1 and Article 15, paragraph 1)

Total amount payable by the guest	Accommodation charges (Accommodation package charges)
	Additional charges (Meal and other usage charges)
	Taxes (Consumption tax and bathing tax)

Note: 1. The accommodation package charge includes the room charge as well as the cost of meals, theme park tickets, and other items selected by the guest.
 2. The accommodation package charge includes a 10% service charge. However, no service charge applies to theme park tickets.
 3. If tax laws or ordinances are revised, the calculation shall be based on the revised provisions.

Attached Table No. 2

Cancellation Fees (related to Article 8, paragraph 2)

Number of applicants		Date of cancellation notice received				
		No-show	Same day	1 day prior	2 to 3 days prior	4 to 10 days prior
General	up to 14 guests	100%	80%	50%	10%	
Group	15 guests or more	100%	80%	50%	10%	10%

Note: 1. The percentages represent the ratio of the cancellation fee to the accommodation charge.

2. For individual accommodation contracts, specific websites, or certain accommodation packages, cancellation fee ratios separately specified for each case shall apply instead of those listed above.

3. In the case of a reduction in the number of contracted days, one day's (the first day's) cancellation fee shall be charged regardless of the number of days reduced.

4. In the case of a partial cancellation of a group reservation (15 guests or more), no cancellation fee shall be charged for up to 10% of the total number of guests as of 10 days prior to the date of stay (or the date of acceptance of the reservation if the reservation is made after that date). Any fractional number shall be rounded up.